



学校と地域との連携にみる生活体験、ものづくり体験の 学習効果と課題

日時：2024年9月28日(土)13:30～16:00

オンライン(zoom)による遠隔開催 ※参加費無料

学校の抱える課題が多様化かつ複雑化する中、学校だけではなく地域や社会全体で子どもたちの成長を支え、見守る必要がある。学習指導要領(2017・2018)では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、地域と連携・協働しながら将来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育成する「社会に開かれた教育課程」の実現が重視されている。子どもたちや地域の実情等を踏まえて、各学校が設定する学校教育目標を達成するためのカリキュラム・マネジメントを構想、実現していくためにも、教師自身が地域連携活動の意義について体験を通して考えることが求められている。学校が抱える様々な課題に前向きに取り組んでいく学校文化を、関係者が共に構築する意識をもって教育活動の推進に協力していくために我々ができることについて、教員養成大学で学生とともに活動を行っている木村氏、佐藤氏とともに考える場としたい。

< シンポジスト >

木村 彰孝氏 (広島大学)

テーマ「中学校技術科と木育における地域との連携を考える」

佐藤 ゆかり氏 (上越教育大学)

テーマ「教員養成と地域連携を考える-雁木町家を活用した地域連携活動-」

☆☆☆ コーディネーター 鈴木 明子氏 (広島大学) ☆☆☆

申し込み方法

参加を希望される方は9月13日(金)までに事務局のWebサイトからお申し込み下さい。
→<https://forms.gle/F7mhU3w7Uu24n9zc6>
または、右のQRコードからお申し込み下さい。
参加方法は、申し込まれた方へ後日お知らせいたします。



お問い合わせ

生活やものづくりの学びネットワーク事務局
E-mail seikatsu_nt@yahoo.co.jp
Web サイト <http://seikatsunet.g3.xrea.com>